Creative Enzymes®

パスツレラ・ムルトシダ由来のα-2,3-シアリルトランスフェラーゼ、組換え型

Cat. No. NATE-1171

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明	シアル転移酵素は、新たに合成されたオリゴ糖にシアル酸を転移する酵素です。各シアル転移酵素は特定の糖基基質に特異的です。シアル転移酵素は、シアル化されたグリコ脂質（ガングリオシド）の末端部分や、糖タンパク質のN-またはO-結合糖鎖にシアル酸を追加します。シアル転移酵素は、ヌクレオチド一リン酸糖（CMP-NeuA）をドナーとして使用する糖転移酵素ファミリー29（CAZY GT_29）に属します。
別名	α (2,3)-シアル基転移酵素; ベータ-ガラクトシド α-2,3-シアル基転移酵素; ベータ-ガラクトサミド α-2,3-シアル基転移酵素; CMP-N-アセチルノイラミン酸-ベータ-ガラクトサミド-α-2,3-シアル基転移酵素

製品情報

種	フォトバクテリウム・ダムセラ
由来	E. coli BL21
形態	トリス-HClおよびNaClを含む凍結乾燥粉末。
EC番号	EC 2.4.99.4
CAS登□番号	71124-51-1
分子量	46.4 kDa
活性	> 2 ユニット/ mg
等電点	5.94
最適pH	7.5–8.5
単位定義	1ユニットは、37 °C、pH 8.0で、CMP-Neu-5-AcとLac-b-O-MUから1.0 mmoleのNeu-5-Ac-a-2,3-Lac-MUの形成を1分あたり触媒します。

使用法とパッケージング

調製方法	凍結乾燥粉末を水で再構成して、約5 mg/mLにします。再構成後、溶液は2～8 °Cで1～2ヶ月間保存できます。また、アリコートして–70 °Cまたは–20 °Cで1年間凍結保存することも可能です。複数回の凍結・解凍サイクルは避けるべきです。

保管・発送情報

保存方法	製品は–20 °Cで保管してください。適切に保管された場合、少なくとも1年間は活性を保ちます。